

「別府社会保険委員」の活動から始まった私の人生の宝



株式会社後藤工務店 経理部長
久米野 妙子

●地域の紹介「おんせん県おいた」
(別府温泉)

平成28年4月16日未明、大分県内の観測史上最大となる地震が、由布・別府両市でも発生しました。

観測史上最大クラスでさらに連続(震度7・震度6強・震度6弱)発生し、日本中を驚かせた熊本・大分地震です。熊本県布田川・日奈久断層とともに、私たちが住む大分県万年山断層帯も影響を受けました。九州各地では、昼夜を問わず震災の恐怖に怯え、また震災の爪痕が全国にテレビ放映され、無残な姿目の当たりにしたことは本当につい最近のことであります。

熊本地域で被災された皆様には、衷心よりお見舞い申し上げます。「おんせん県おいた」の中でも別府八湯温泉は、湧出量で世界第2位と名を馳せ、源泉数は世界第1位です。しかし、今回の熊本・大分地震により、温泉や水源の枯渇が各地に及び被害が報じられると、地下の恵みも永久ではないことを思い知らされました。また、連続地震の揺れに伴い、避難生活をせざるを得ない地域も各地に拡がり、早期終息を願う日々が続きました。その折、全国各地から多くの皆様に勇気づけられましたことは心に残ります。

熊本・大分地震の災害に際して、皆様よりお寄せいただきましたご高配に厚く御礼申し上げます。

●事業所の紹介

当社は、大分県別府市に本社を置き、後藤建築工務所として昭和10年に創業し、その後昭和24年9月後藤工務店に改称、さらに昭和38年7月に株式会社後藤工務店と改組し、総合建設業を営み現在に至っています。

別府市をはじめ近隣の杵築市、宇佐市、国東市、日出町等からなる別府年金事務所(旧別府社会保険事務所)の管轄地域で営業しています。主に学校教育施設・公共施設や道路工事・河川砂防工事等の工事を永年に亘り施工してきました。

しかし、現在では個人住宅の建築も手がけ、小規模ながら10年100棟建築計画もすでに達成し、今年は創業80周年を迎えましたので、記念誌発行と記念行事を計画しているところです。

●社会保険委員(年金委員)との関わり

私は昭和37年4月に入社、中小零細企業においては、経理部がすべて



別府温泉

の部署と連携しました。工事現場にはいきませんが、書類作成については何事でもお手伝いする、そのような環境での業務の連続でした。

近所に別府社会保険事務所にお勤めの方がいて、「社会保険委員制度ができましたので、是非委嘱を受けられては」とお誘いを受け、それ以来勤続年数も50年あまり過ぎましたが、委員としても長い間携わることとなりました。

この間、委員研修、委員会活動や社会保険優良事業所の視察研修等、社会保険との深い関わりが仕事へも大いに活かされ、つながりました。また、社会保険委員間においては、異業種交流が図れる場としても大変魅力を感じ、人脈という財産ができ

たことも大変感謝しています。

これまでに社会保険に関する主な委嘱は、

- ・大分県地方医療協議会委員(大分県知事委嘱)
- ・大分地方医療協議会委員(厚生労働大臣委嘱)
- ・年金委員(厚生労働大臣委嘱)
- ・国民年金委員(社会保険庁長官委嘱)
- ・年金記録確認第三者委員会委員(総務大臣委嘱)
- ・全国健康保険協会大分支部評議委員(全国健康保険協会大分支部長委嘱)

このように社会保険関連業務に携わったおかげで、社会保険の手続き等を通じて、長い間に知り得たお取引先のご本人やご家族をはじめ、友人・知人等多くの方々との間に信頼関係の輪が生まれ、いつでも楽しく仕事に励むことができ、がんばっています。

老後の生活を支える年金の受給や各種手続を行う際に、業務に精通した社会保険事務所の職員から永年に亘り多大な指導を受けられました(年金手続に関しては、約70名お世話しました)。

このように大勢の方々の年金手続

をお手伝いできたことは、当社の仕事にもつながり、まだまだ現役を続けられる源でもあります。

皆様との関わりの中で感謝された喜びは、私の人生にとっても感謝することは最も大切だと教えていただきました。

なかでも思い出に残るできごととして次の3点あります。

●年金では

若い頃から全国各地の高速道路建設作業に携わり、年金を申請する歳になり、ようやく生まれ育った別府市に戻り家族と定住することを決められたAさん。奥様から年金請求手続について相談を受け、早速手続き開始、無事完了し、さかのぼって年金を受給することができたとの連絡に、家族の喜ぶ顔が忘れられないできごとでした。

●第三者委員会では

雇用保険と健康保険、厚生年金保険との加入年月日が違う事案。入社時に見習い期間を設けたため、入社年月日が異なったことを発見しました。指導を受けながら当たり前のことを続けてきたことが、こんなに大切だと気づかされ、業務担当者として安堵しました。

●「ねんきん公開講座」にパネラーとして参加

平成19年2月に大分社会保険事務局が初めて開催した講座に参加しました。そのときに書いた感想文が記録に残っていました。

「年金に対する関心度は、参加者数をみてびっくりしました。今後も講座の回数を重ねて、万民によい機会をつくり、年金への理解を得ることは大変ですが必要だと私は感じました」。

●おわりに

今後年金制度の維持、高齢社会において膨らみ続ける医療費問題、現役世代が負担する健康保険料のうち後期高齢者拠出金が40%を占めること、また後期高齢者の医療費の増大など、今後も課題が山積です。

国が抱える財政負担や諸問題に向かつてなかなか解決策が見いだせない中、協会けんぽ大分支部は、増える医療費問題にいち早く取り組みました。「生活習慣病予防健診」の受診率アップやその後の特定保健指導の活用、「一社一健康宣言事業」等の健康経営の取組が大分県と連携し



株式会社後藤工務店

て行われています。企業やわれわれ被保険者もできることから着実に実行しています。

現在よりも将来に向かってもっと住みよい大分県、日本さらに世界の模範となり得るような社会が保てる国になってほしいと願っています。

委員としての大切な役割もこれからも続けていきたいと思いつながら、全国の年金・健康保険委員の皆様へ、ますますのご活躍を別府温泉の地よりご祈念申し上げます。

(別府年金委員会副会長 大分県社会保険委員会連合会理事)